

# ショックアブソーバの廃棄方法

作業にかかる前に、防護用品やショックアブソーバの固定具、穴開け用ドリル等を事前に準備して下さい。



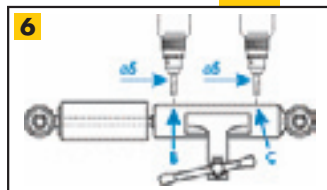
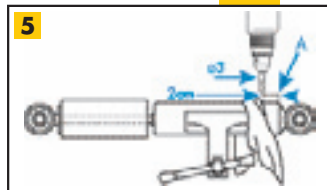
以下の一連の作業時には必ず防護メガネ・防護手袋を使用して行って下さい。



- 1 ショックアブソーバを水平になるように設置します。
- 2 ショックアブソーバがドリルで穴加工した際に、動かないように確実に固定します。
- 3 ショックアブソーバを一番伸ばした状態にします。
- 4 ハイプレッシャーモノチューブ・ロープレッシャーツインチューブ・コンベンショナルツインチューブのいずれかを見分けます。すべてのハイプレッシャーモノチューブショックアブソーバには、「high pressurized do not heat or open」と明記されています。

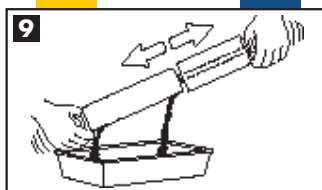
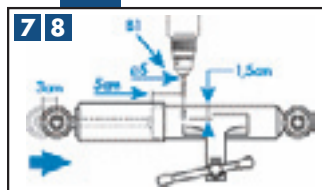
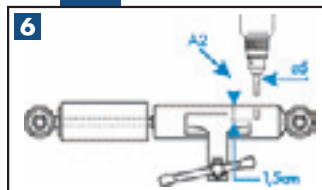
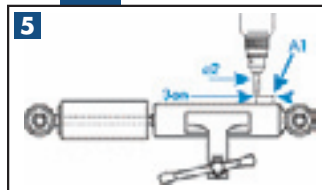
## ハイプレッシャーモノチューブ (25~30bar) の場合

- 5 3~5mmφのドリルで、ショックボディエンド(A)から2cmの所に穴を開けてガスを抜きます。  
 ※穴を開けた際にガスが噴出しますので切子やオイルに十分注意して下さい。
- 6 3~5mmφのドリルで、(B)と(C)の間隔を開けた2ヶ所に穴を開けます。



## ロープレッシャー (3~5bar) コンベンショナルツインチューブの場合

- 5 ショックボディエンド(A1)から3cmの所2~3mmφの穴を開けてガスを抜きます。  
 ※穴を開けた際にガスが噴出しますので切子やオイルに十分注意して下さい。
- 6 ガスを抜いた後に、5mmφのドリルで1.5cmの深さまで穴を開けます。(A2)
- 7 最低でも30mm以上ショックをゆっくり縮ませます。
- 8 5mmφのドリルでボディ先端から5cmの所に、深さ1.5cmの穴を開けます。(B1)



- 9 ショックアブソーバをストロークさせてオイルをすべて排出させます。



- 10 排出されたオイルは他のエンジンオイルと同様に保管して下さい。  
 分離されたオイル・ショックアブソーバは定められた廃品処理業者に処理を依頼して下さい。

※マックスエアはラバーブーツ部分を切り取ってからこれらの作業を行います。